学園ブルーウェーブ一丸で準V

7年ぶり頂点狙うも完敗…

笑顔でベンチに駆け戻る学園ブルーウェーブナイン

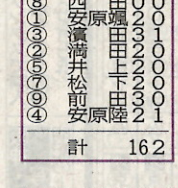
劣勢にも声と笑顔を絶やさなかった。7年ぶりの頂点を狙った学園ブルーウェーブだったが、春の王者に完敗。それでも橋爪監督は「声だけは負けないことを実践してくれた」とナインを称えた。

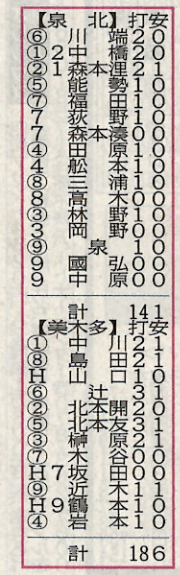
準決勝は、4番・濱田の決勝適時打と、エース・安原颯の完封勝利で勢いをつけた。だが、決勝では先発・坂本が金岡打線につかまると、打線も相手エースを打ち崩せなかった。濱田は「決勝で点差が開くと次(の大会)のノリが悪くなってしまう」と残念がった。

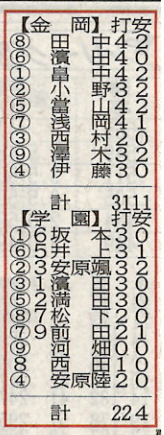
準Vの結果に悔しさが残るものの「チャンスで(最初の打者が)打てなくても、次の打者で打てる人が出てきた。チームワークが良かった」と安原颯主将。〝チーム一丸〟の姿勢は、間違いなく大会ナンバーワンだった。

▽準決勝
宮川少年野球部(兵庫) 0 0 0 0 0 0 0
金岡ベアーズ(南大阪) 3 1 0 3 × 7 0
(五回コールド)
(宮)岡、西村、石地―福原(金)岸本、濱田―小野
▽本塁打 田中(金)▽三塁打 畠中(金)

▽準決勝
平岡ジャガーズ(泉北) 0 0 0 0 0 0 0 0
学園ブルーウェーブ(兵庫) 0 0 3 0 0 0 × 3 0
(平)辻林、河原―田辺(学)
安原颯―満田







宮川少年野球部・岡主将

「昨日から体調が悪くて、調子が戻らなかった。チームも元気がなかった。去年優勝したので(夏を)連覇できなくて悔しいです」

平岡ジャガーズ・秋本主将

「力が足りなかった。先週より緊張してしまってミスも多かった。自分たちが本気を出せば優勝できると思ってやってきたので、勝ちたかったです」

2年連続！ジュニア王者に

〈美木多イーグルス〉

四回コールドと相手を圧倒し、2年連続ジュニア王者に輝いた。先発・中川が4回を1安打1失点の好投。打っては初回、2死満塁で走者一掃の左越え二塁打を放ち、優勝に貢献した。中川は「いつもの練習より調子が良かった。うれしいです。もっとうまくなりたい」と目を輝かせた。

▽ジュニア決勝
泉北ドリームズ(泉北) 0 0 0 1
美木多イーグルス(泉北) 7 0 0 2 9 1
(四回コールド)
(泉)中橋、森本浬―森本浬、中橋(美)中川―北本開
▽二塁打 森本浬(泉)中川(美)